

ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



大空を見上げる如く紫木蓮

南桜町 宮腰 幸子

炎天に氣負はぬ暮し余生かな

西岡町 渋谷 みさ子

朝焼けや牛啼き交はす草千里

旭町 宝澤 房子

葉ざくらや昭和氣質をそのままに

仲町 玉野 研一

五月晴すしごと重き抱く

緑町 池田 良子

はんなりとすく紅さし浴衣の娘

西原町 児玉 久美子

万緑やあの娘は母に乳母車

西町 金澤 頼子

滝よりの風はずしみ京の旅

元町 印牧 安子

紫陽花は今を盛りと朝の庭

仲町 坂部 和子

草とりに疲れし夫の高いむぎ

元町 西崎 弘子

菜の花の色香漂う美景かな

緑町 齋藤 嘉子

幼日の秘密基地あり夏河原

仲町 梅基 文子

鴉来るいちご畑の知恵比べ

旭町 大河 博子

リッ冷や姉妹の話盛り上がり

西町 岸波 君江

客乗らぬ定期バス行く雲の峰

西町 杉浦 とし枝

ついで咲く頃には少し休息を

藤本町 鈴木 ゆき子

この道を行けばふるさと木の芽立つ

東町 高草木 喜代子

代わる代わる洗って乾しぬ夏日かな

西岡町 高瀬 久美子

夏の日少年の靴新らしく

東町 高橋 世津子

牛の眼のなかの夏野や空青し

西町 文梨 清子

谿部落たにぶらくいくも越えて山女釣る

仲町 芳賀 星子